

介護職員等による喀痰吸引等研修(第3号研修)を実施します

医療的ケアが必要な方への支援ができるようになりますか？

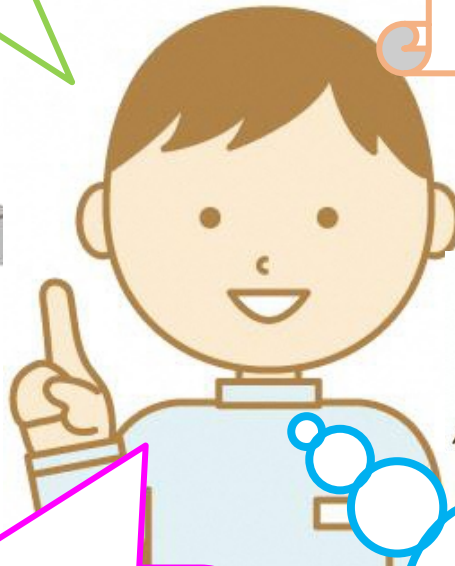
医療的ケアとは

医学の進歩により、医療職しかできなかった行為のうち、日常生活において家族が実施できるケアのことを「医療的ケア」と言うようになりました。



日常生活に必要な在宅医療的ケアの例

- ・服薬管理
- ・経管栄養
（経鼻、胃ろう、腸ろう）
- ・痰や鼻水などの吸引
- ・血液中の酸素飽和度と脈拍数の測定
- ・気管切開部の管理
（バンドやガーゼ交換など）
- ・在宅酸素療法など



◆医療的ケアのこれまで◆

- ・家族は、医師等に在宅ケア方法を教わり介護。
- ・家族が行うケアは「医療」に当たるため、支援として対応できなかった。→ **家族負担の増大**
- ・平成24年度「介護職員等による喀痰吸引実施のための制度」が整備。

→看護職しかできない特定行為が、研修受講修了者も実施できるようになりました。

◆第3号研修を受けると

- ・気管カニューレ内の吸引
- ・口腔内吸引
- ・鼻腔内吸引
- ・経鼻経管栄養への注入
- ・胃ろう、腸ろうへの注入

以上5項目を支援として実施することができます。

（加算あり）

山城南圏域には、多くの医療的ケアが必要な方々が、在宅生活を送ってられます。利用者や家族からは、「様々な福祉サービスを利用したい」との声があがっていますが、医療的ケアに対応できる事業所や支援者が少なく、十分なサービスを提供できていないのが現状です。令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、山城南圏域では、障害者自立支援協議会を中心とし、医療・保健・教育・福祉・保育・行政等の支援機関が連携し、医療的ケアが必要な方々や家族の課題を協議し、改善に向けた取り組みやチーム支援ができる体制を整えています。ぜひ、医療的ケアが必要な方々や家族の支えとなる支援者になっていただけませんか？

介護職員等による喀痰吸引等研修（第3号研修）

■令和7年9月3日(水) 場所:京都山城総合医療センター

受講料 22,000 円
(基本研修・実地研修を含む)

研修内容・科目	時間
受付	9:00~9:20
開校式・オリエンテーション	9:20~9:30
喀痰吸引の講義 ○呼吸について ○呼吸異常時の症状、緊急時対応 ○人工呼吸器について ○人工呼吸器に係る緊急時対応 ○喀痰吸引概説 ○口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部の吸引について ○喀痰吸引のリスク、中止要件、緊急時対応 ○喀痰吸引の手順、留意点 等	9:30~12:30 (3 時間)
休憩・昼食	12:30~13:30
健康状態の把握・経管栄養の講義 ○健康状態の把握 ○食と排泄(消化)について ○経管栄養概説 ○胃ろう(腸ろう)と経鼻経管栄養 ○経管栄養のリスク、中止要件、緊急時対応 ○経管栄養の手順、留意点 等	13:30~16:30 (3 時間)
オリエンテーション(2 日目について)	16:30~16:45

■令和7年9月4日(木) 場所:京都山城総合医療センター

研修内容・科目	時間
受付	9:00~9:20
オリエンテーション	9:20~9:30
重度障がい児・者等の地域生活等に関する講義 ○障害者自立支援法と関係法規 ○利用可能な制度 ○重度障害児(者)等の地域生活について	9:30~11:30 (2 時間)
オリエンテーション (試験実施に向けての諸注意等)	11:30~11:45
筆記試験 ○吸引・経管栄養(30分) ○経管栄養のみ(15分)	11:45~12:15
休憩・昼食	12:15~13:30
シミュレーター演習 ○喀痰吸引 ○経管栄養 (口腔内)(鼻腔内) (胃ろう・腸ろう) (気管カニューレ内) (経鼻経管)	13:30~16:00 (2時間半)
閉校式	16:00~16:30

申し込み〆切：令和7年8月8日必着 申し込み用紙は(福)いづみ福祉会 HP からダウンロード

<問い合わせ先> 社会福祉法人いづみ福祉会 障害者相談支援センターいづみ

〒619-0214 京都府木津川市木津清水27-9 TEL:0774-66-3521 FAX:0774-66-3531

ホームページ: <http://www.idumi-fukushikai.or.jp/> Email: soudan1@idumi-fukushikai.or.jp

※分からないことがあればお気軽に連絡下さい